

個人投資家向け説明会主な質疑応答 (2012年3月開催)

Q 1,000億円の当期純損失によって、自己資本の状態はどうなりますか。また、構造改革後の会社の姿を教えてください

A 期初の自己資本比率は29%でしたが、今年度に1,000億円の当期純損失を計上することで、期末は若干の悪化を想定しております。

今年度は無配とせざるを得ませんが、構造改革の効果により現状の売上高レベルでも安定的な収益をあげられる事業体へと変革し、来年度以降、着実にバランスシートを改善していきたいと考えております。

Q 自社株買いは考えていないのですか。

A 当社としては、今回の構造改革を実行することで今後当期純利益を計上し、安定的な配当を実施することで株主のみなさまへの還元を図ってまいりたいと考えております。

Q 株価の低迷によって資産価値が減り、株主は不安を感じています。株主同様に、社員も痛みを感じているのでしょうか。

A 経営陣や管理職の報酬削減などを実行していきます。

1月26日の決算発表以降、株主のみなさまから厳しいご意見を多数いただいております。経営陣とも共有しております。二期連続の無配という事態を非常に重く捉えており、相当な危機感を持って取り組んでおります。

Q キャリアネットワーク事業は、世界でどのような位置づけにありますか。

A 海洋システム事業では、当社は世界シェア上位3社のうちの1社であり、約2割のシェアがあります。また、新興国向けの携帯電話インフラ(超小型マイクロ波通信システム)であるパソリンク事業は、世界第2位のシェアです。今後は、国内で実績のある次世代の携帯電話システム(LTE)の基地局を海外でも伸ばしていきたいと考えております。

Q エルピーダメモリ(株)の経営破綻の影響はどの程度ありますか。

A 2011年12月末時点で同社株式を約770万株保有しておりますが、既に時価に合わせた減損処理を行っています。業績への影響は、内部努力により吸収したいと考えております。

Q

クラウド以外の領域の海外展開への取り組みについて教えてください。

A 海外向け売上高は、円高の影響を受けていますが、外貨建て（ドルベース）で比較すると伸びています。

キャリアネットワーク事業は、現在約30%の海外比率を、近い将来、40%まで高めたいと考えております。また、エネルギー事業は、現時点では日産自動車（株）向けの電極が中心ですが、家庭用、ビル用、系統用など様々な用途に向けて国内外で実証実験を進めており、海外での事業拡大も目指しています。

当社は今後、海外での事業拡大を図り、全社の海外売上高比率をまずは25%まで高めたいと考えております。

Q

企業や官公庁を狙ったサイバー攻撃が増えていますが、NECは十分な対策をとっていますか。

A 情報システムのセキュリティは非常に重要であり、専門部署で対応しております。また、お客様へのクラウドシステム導入にあたっては、細心の注意を払っております。

Q

前橋市立図書館にクラウドサービスによる図書館システムを納入したとのことですが、図書館が自前でシステムを持つ場合と比べてどれくらい費用を削減できるのですか。

A 同等のシステムを個別に開発・運用する場合と比べ、図書館全体における5年間のIT費用を約25%削減することが可能と想定しております。当社は、クラウドサービスの提供を通じて、お客様の費用削減やサービス向上に貢献してまいりたいと考えております。